

第21回

東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点

SDGS-IDセミナー

社会にインパクトある研究_C3感染症超克 共催

「感染症」×「保健行政」

ダイナミックなCOVID-19対応 をすすめる保健所

2023年1月27日（金） 12:00-13:00

【Zoom】参加無料【言語】日本語

参加登録

登録締切：1月26日（木）15:00迄

<https://forms.gle/GH8MrJZYd2ujTCR6>

<プログラム>	12:00-12:05	オープニング
	12:05-12:35	講演
	12:35-12:55	質疑・総合討議
	12:55-13:00	ラップアップ



講演概要

宮城県の一部地域では、国や県の方針と併行して、保健所と感染症指定機関が連携し、医療機関や医師会等の協力のもと、地域の医療・福祉・介護リソースおよびニーズに合わせた医療圏独自のCOVID-19対応をとっている。これは地域の実情を加味するだけでなく、中・長期的視点にたった地域医療体制再構築を目指している。

講師 鈴木 陽（宮城県大崎保健所 所長）



平成10年3月 山形大学医学部卒
平成10年4月 東北大学小児科学講座
平成14年4月 国立仙台病院 ウイルスセンター
平成18年8月 米国ミシガン大学・公衆衛生大学院
平成18年9月 東北大学大学院医学系研究科 微生物学分野
平成29年8月 宮城県 石巻保健所 所長
(平成30年～: 登米保健所 所長兼務, 平成31年～: 気仙沼保健所 所長兼務)
令和 3年 4月 宮城県 大崎保健所 所長（現職）



東北大学感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点（SDGS-ID）

■ 拠点Web : <http://www.sdgs-id.med.tohoku.ac.jp>

■ お問い合わせ : sdgs-id@med.tohoku.ac.jp



東北大学 社会にインパクトある研究 -C3感染症超克

http://impact.bureau.tohoku.ac.jp/contents/c3_infectious_disease.html